

新技術情報

(様式10)

水道施設の分類	○ 取水施設 ○ 貯水施設 ○ 導水施設 ○ 浄水施設 ○ 送配水施設 ○ 計装設備
	その他 ()
技術区分	○ 点検 ○ 維持(運転、巡視、監視、保守、診断等)
	修繕(補修、補強を含む) ○ 保全(長寿命化、予防保全等)
	その他 ()
キーワード	クラウド、IoT、モバイルデバイス(タブレット)、アセットマネジメント支援、ミクロマネジメント、健全度評価、劣化予測、データ一元管理、点検効率化

新技術名称 水道施設情報管理システム：クラウドシステム「SkyScraper®」
事業者名 株式会社NJS

○ 新技術の概要

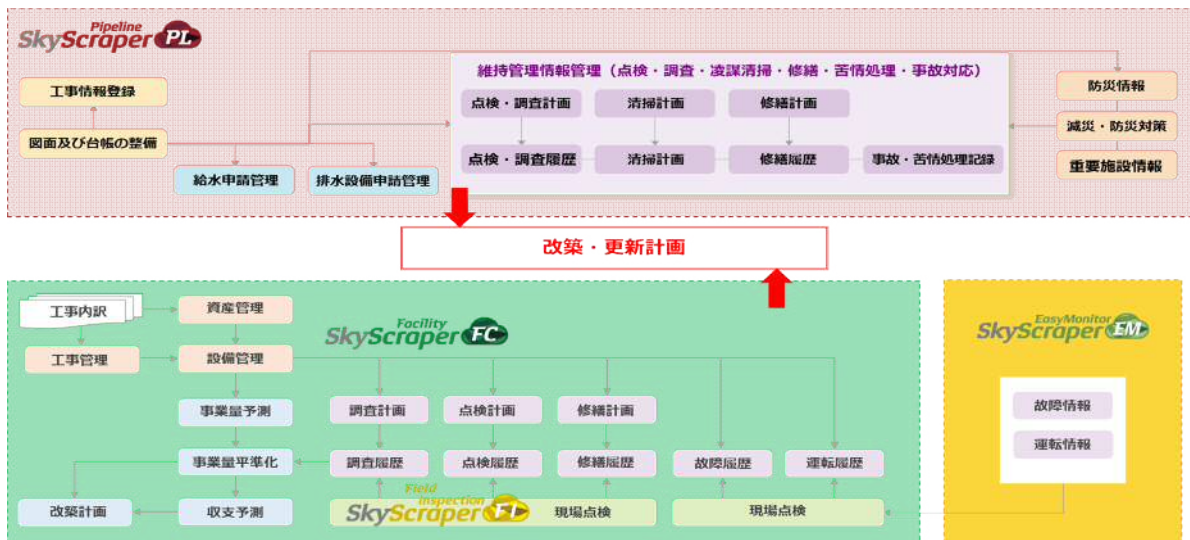
SkyScraper®は水道事業におけるライフサイクルの様々なステージにおいて事業運営を支援する統合型のクラウドサービス・IoTプラットフォームです。工事情報、設備情報、点検情報、事業量等を統合管理し、アセットマネジメントを支援します。



赤：申請対象

○ 新技術の特徴

水道事業の施設管理に係る業務を一元管理でき、タブレット機能により日常的な維持管理や災害等の緊急対応に活用できます。



新技術情報

(様式10)

特許関係情報

なし

受賞実績

なし

技術評価・成果確認等実績

なし

○ 導入事業者

○ 水道事業者

(SkyScraperFC) 山梨県甲府市[2018年]、大阪府高槻市[2019年] 他

(SkyScraperPL) 福島県白河市[2018年]

(SkyScraperFI) 山梨県甲府市[2018年]、大阪府高槻市[2019年]

○ 水道事業者以外

(SkyScraperEM) 千葉県千葉市[2015年] 下水道事業マンホールポンプ等遠方監視システム構築

※SkyScraperEMの水道事業への転用例：簡易水道施設の配水池・ポンプ等の遠方監視

○ 導入事業者からのコメント

(SkyScraperFC及びFI) <高槻市>

浄水場・送配水施設の諸元管理をSkyScraperFCで実施しており、水道部浄水管理センター職員、浄水場の維持管理業者がシステムを利用しています。

点検結果や修繕内容も各維持管理機能で蓄積することができるので、点検時期や設備の更新時期の検討資料として蓄積したデータを活用しております。

さらに、台帳検索機能を用いて、各種統計資料等の作成が効率的に行えるようになりました。

SkyScraperFIは、オフライン環境でも利用できるので現場での点検結果の登録に利用しています。

SkyScraperFCと連携することで、蓄積した情報を帳票作成や点検計画等の検討に活用しています。

(SkyScraperPL) <白河市>

管路台帳システムは、水道管路に係る諸元や図面の電子化を図り、施設管理業務で活用しています。

また、給水受付窓口業務での利活用により業務の効率化を進めており、今後は蓄積された情報をアセットマネジメント計画に活用し、水道事業経営の基盤強化を図ります。

(SkyScraperEM) <千葉市>

市内マンホールポンプ場103施設、雨水ポンプ場など28施設の運転監視にSkyScraperEMを活用しています。

監視用端末は市内2カ所の終末処理場に設置し、職員および維持管理業者により監視をしています。

常時監視に加え、ポンプの運転時間を蓄積しているため、施設の保全活動の参考としています。

○ その他（特記事項）

<LGWAN>

SkyScraperFC、SkyScraperPLは、LGWAN-ASPによるサービス提供を行っています。

※J-LIS LGWAN-ASPサービスリスト https://www.i-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/list/lgwan-asp_ap_servicelist.htm%E5%85%A8%E5%9B%BD

<セキュリティ・ハウジング等>

ー社) ASP・SaaS・AI・IoTクラウド産業協会の各情報開示認定制度の認定を受け情報を開示しています。

ASP・SaaS情報開示認定(認定番号:0198-1601) ※対象: SkyScraperFC、SkyScraperPL

ASP SaaS情報開示認定サービスリスト https://www.aspicjapan.org/nintei/asp-nintei/service_search.html

ASP・SaaS (IoTクラウドサービス) の安全・信頼性に係る情報開示認定(認定番号:IoT0002-1912)

※対象: SkyScraperEM

ASP・SaaS (IoTクラウドサービス) 情報開示認定サービスリスト https://www.aspicjapan.org/nintei/asp-iot/service_search.html

<災害時における利用>

地震等災害時でインターネットが使用できなくなった場合は全てのクラウドサービスを提供することができなくなります。

災害時の対応としては弊社でお預かりしているデータをオフライン提供、ユーザー様のスタンドアロンの復元環境構築のご提案を行っております。

○ 新技術紹介サイト

<https://www.nis.co.jp/software/>

○ 問い合わせ先

担当者氏名	小杉 直人	担当部課名	開発本部 システム開発部		
		所在地	〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング14階		
電話	03-6324-4366	FAX	03-6324-4358	E-Mail	naoto.kosugi@nis.co.jp